

授業科目 レクリエーション活動援助法

【担当教員名】 佐藤ユリ子	対象学年	1	対象学科	社会（介護）
	開講時期	前期・後期	必修・選択	介護福祉コース必修選択
	単位数	2	時間数	60

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
レクリエーション活動の社会的意義と援助活動の実践的能力の向上を目指す。  
レクリエーション活動を通して、高齢者・障害者の活動支援について理解を深める。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】  
1 レクリエーション活動の社会的意義を理解する。  
2 レクリエーション活動の援助者としての役割について理解する。  
3 レクリエーション計画の作成能力を習得・向上させる。  
4 レクリエーション活動の実践援助能力を習得・向上させる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	介護福祉サービスにおけるレクリエーション援助の意義	1	理論
2	レクリエーションのもつ意味	1	理論
3	レクリエーションと社会福祉	1	理論
4	ワークショップ 遊びケア1 福祉アート	4	演習
5	ワークショップ 遊びケア2 ミュージックケア	4	演習
6	ワークショップ 遊びケア3 福祉レクリエーション	4	演習
7	ワークショップ 遊びケア4 ニュースポーツ	4	演習
8	ワークショップ 遊びケア5 回想法	4	演習
9	事例研修	4	演習
10	レクリエーションの利用者と援助者	2	理論
11	レクリエーション活動援助とグループワークとの関係	2	理論
12	グループワーク演習 1	2	演習
13	グループワーク演習 2	2	演習
14	グループワーク演習 3	2	演習
15	試験		
1	コミュニケーション・ワーク 人間交流	4	演習
2	コミュニケーション・ワークの実際	4	演習
3	コミュニケーション・ワークの転開放	4	演習
4	コミュニケーション・ワークの観察法	4	演習
5	レクリエーション計画の作成と実行	3	理論と演習
6	グループ別計画の方法と実際	3	理論と演習
7	レクリエーション援助の実施	3	演習
8	レクリエーション援助の記録・評価	3	理論と演習
9	援助のための組織・環境の形成	4	理論
10	楽しく安全なレクリエーションの実現	4	理論
11	レクリエーション援助者の役割	4	理論
12	治療的意味合いを含めたレクリエーション	4	理論
13	治療的意味合いを含めたレクリエーション援助の実際	4	理論
14	レクリエーション財とその展開	4	理論
15	試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新版介護福祉士養成講座6第2版「レクリエーション活動援助法」 中央法規			
参考書				
その他の資料	演習用の教材として。マジック、水彩絵の具、筆、大洋紙、色画用紙、クレヨン、色鉛筆、ポンドのり、折り紙、ポストイット、紙粘土、はさみ、習字紙、CD			

【評価方法】 出席、授業態度、期末試験、レポート	【履修上の留意点】 ・理論と演習のバランスを考慮する。 ・演習で体験したレク財の活用など、対象者に応じた応用を工夫させる
-----------------------------	--

社会福祉学科 専門